

御礼状

謹 啓

師走の候、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

東日本大震災から9か月余りとなりました。

福島県は、地震と津波で多くの尊い命、財産を失い、さらに原発の事故、風評被害を加えた「四重苦」が現在も続いています。

こうした中、県民が一丸となって必死にこの難局に立ち向かっています。

貴学会におかれましては、これまでの間、寄付で多大な御支援をいただき、福島県民を代表して心から御礼申し上げます。

おかげさまで、県民も少しずつ元気を取り戻し、経済活動でも農産物の出荷制限解除や企業の操業再開など、明るい話題も増えてまいりました。

復旧、復興には長い時間が必要になるかもしれませんが、「新生ふくしま」に向け、一步一步力強く、粘り強く歩んでまいります。

今後とも御理解と御支援をお願いいたします。

このたびの温かい御厚情に対し、略儀ながら書中をもって御礼申し上げますとともに、貴学会のますますの御発展をお祈り申し上げます。

敬 具

東日本整形災害外科学会
常任理事 徳橋 泰明 様

平成23年12月

福 島 県 知 事 佐 藤 雄 平